

埼玉県立大学 保健医療福祉科学学会 第16回学術集会

Exploring research and globalization in the field of Health and Social Services



会長 有竹清夏

副会長 廣渡祐史 村井美代

保健医療福祉分野における
研究と国際化を考える



◆ 教育講演

「検査学領域における国際化の現状と取り組み・これから」

日本臨床検査学教育協議会 理事長
神戸常盤大学保健科学部 医療検査学科
坂本 秀生

参加費

学生(院生, 高校生含)無料
学生以外1000 円

参加登録・演題登録は
学術集会HPまたはQRコードから

<https://16th-spu.iimdosite.com>

◆ 学生ポスタープレゼンテーション賞

◆ シンポジウム1「国際的医療人として活躍するためには」

共通教育領域	飯島 博之
福祉子ども学領域	林 恵津子
社会福祉学領域	保科 寧子
看護学領域	齋藤 恵子

◆ シンポジウム2「保健医療福祉学分野の 研究における国際的視点の重要性」

作業療法学領域	濱口 豊太
健康情報学領域	若林 千ヒロ
理学療法学領域	小栢 進也
口腔保健科学領域	植野 正之

2025年
11月29日(土)
10:00-16:10
会場 埼玉県立大学

実行委員長：井原寛子 副実行委員長：久保田亮
実行委員：伊藤さやか, 岡田茂治, 岸井こずゑ,
中村潤子, 伏見もも, 安藤克己, 矢野哲也

埼玉県立大学保健医療福祉科学学会第16回学術集会 プログラム

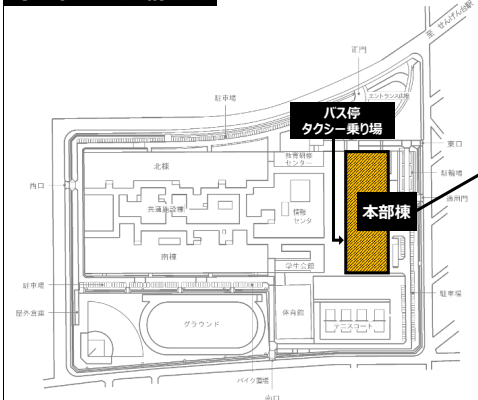
10:00-10:05	学術集会長挨拶	講堂
	検査技術科学専攻 有竹 清夏	
10:05-10:10	理事長挨拶	講堂
	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会理事長 林 裕栄 学長	
10:10-11:30	シンポジウム 1「国際的医療人として活躍するためには」	講堂
	座長：検査技術科学専攻 中村 潤子 共通教育領域 飯島 博之 「医療系学生のための医学用語指導～形態論的気づき(MA)とARCS動機付けモデルに基づく医学用語の基礎学習～」 福祉子ども学領域 林 恵津子 「現地レポート New York重症心身障害児病棟でのレクリエーション活動」 社会福祉学領域 保科 寧子 「日本に暮らす外国人の困難と支援を考える」 看護学領域 齋藤 恵子 「文化をつなぐ看護の視点 ― 周産期における多文化共生への取り組み」	
11:40-12:20	学生・一般ポスタープレゼンテーション	講堂 ホワイエ
12:20-13:10	昼休憩	
13:10-14:10	教育講演	講堂
	座長：検査技術科学専攻 有竹 清夏 日本臨床検査学教育協議会 理事長/神戸常盤大学保健科学部 医療検査学科 坂本 秀生 「検査学領域における国際化の現状と取り組み・これから」	
14:15-15:35	シンポジウム 2「保健医療福祉学分野の研究における国際的視点の重要性」	講堂
	座長：検査技術科学専攻 岸井 こずゑ 作業療法学領域 濱口 豊太 「行動変容を促すeHealth：IBS研究から学ぶ国際的なセルフケア支援」 健康情報学領域 若林 チヒロ 「COVID-19パンデミック流行波の疫学像：2020-2025」 理学療法学領域 小栢 進也 「世界に触れて揺らぐ常識：国際視点が導く保健医療研究の新たな可能性」 口腔保健科学領域 植野 正之 「グローバルゼーションと歯科保健」	
15:50-16:00	SPU学生ベストプレゼンテーション賞表彰式	講堂
16:00-16:05	次期学術集会長挨拶	講堂
	福祉子ども学専攻 林 恵津子	
16:05-16:10	閉会の挨拶	講堂
	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会副理事長 横山 由美 研究科長	
16:10	閉会	

医療従事者や専門職連携の分野で必要とされる国際化・グローバル化に関する情報を、検査教育学のトップリーダー、本学の各学科専攻教員から得ることができる貴重な機会です

◆ヒューマンケア体験実習施設の美味弁当を用意しております

◆SPU学会16回学術集会プチスイーツを用意しております

埼玉県立大学 構内図



本部棟 案内図

